

# 令和四（2022）年度「中東講座」報告書

一般財団法人中東協力センター

去る7月12日（火）・13日（水）の2日間にわたり令和四年度「中東講座」を開催した。

本講座は、当センター関係先で中東の政治・経済・ビジネス等に関心・興味ある層を対象に、「中東をより深く理解する」機会を提供することを目的として毎年開催している。

今年度も、演題は例年同様、中東地域の①経済・②ビジネス・③文化・④政治・⑤エネルギーの5つの分野を設定し、時差のある中東地域からの参加希望を考慮して日本時間午後からの開催で二日に分けたプログラム（初日3分野・2日目2分野）を組み、さらにコロナ対応上、会場参加（明治記念館）とオンライン参加（ZOOMシステム）を併用するハイブリッド形式とした。

2日構成のプログラムに沿って、各分野の専門の講師より、下記のご講演を頂いた。

講座初日は、まず「ビジネス」について、ルブリスト(株)代表取締役の川名浩一氏より「中東ビジネスの醍醐味とリスクマネジメント」と題し、ご自身が(株)日揮で長年従事された中東諸国での豊富なビジネス経験から、具体的なエピソードにも触れながら中東ビジネスに対する心構え・姿勢、また異文化理解力（E.メイヤー）、リスクマネジメントやリーダーシップの重要性などについて、現在中東ビジネスで奮闘、活躍している参加者に対しエールを送られた。

続いて「エネルギー」について、(特非)国際環境経済研究所 理事/東北大学 特任教授の竹内純子氏より、「日本のエネルギー政策をどう立て直すか」と題し、エネルギー政策の「S+3E トリレンマ」における重心設定と長期取組の難しさに始まり、まず「カーボンニュートラルへの道筋」としてエネルギー転換を進める「5つのD」と課題、次に「失われた電力安定供給」として電力不足の背後要因そして日本が抱える諸問題について、掘り下げて解説頂いた。

初日結びに「文化」について、東海大学経済学部講師のオスマン・アルマズィヤード氏より「国際理解の本質を問うー文化の視点からー」と題し、エリン・メイヤーの異文化理解の理論をベースに、世界の言語、コミュニケーション（ハイ/ロー・コンテクスト）、時間軸、決断・評価等における各国の文化の相違を紹介、国際理解の本質は文化の中核の「価値観」にあるとし、自らの価値観を認識しつつ異文化の価値観に触れることで相互理解を深められると解説頂いた。

2日目は、まず「政治」について、(一財)日本エネルギー経済研究所理事/中東研究センター長の保坂修司氏より「揺れ動く中東情勢を読み解く」と題し、中東・北アフリカの歴史を概観しながら複雑な多くの問題・課題、多様な政治体制、また米国の中東政策の変遷等を解説し、従来のサウジアラビア・イラン・トルコの「中東三国志」が、近年イスラエル、米・中・露の関与の強まりで複雑化している情勢や、ウクナイナ危機への中東諸国の対応について解説頂いた。

結びに、「経済」について、ジャーナリスト（日本経済新聞客員編集委員）の脇祐三氏より「経済の構造変化と中東の課題」と題し、過去40年余の中東諸国の人口動態と1人当たりGDPの変化を概観しイスラエル経済の「独り勝ち」構図を指摘、都市部の電力・水インフラ不足、医療ヘル

スケア市場拡大、教育/人材育成・環境/エネルギー・ウクライナ危機で食料燃料高などの課題、一方で株高やIPO ブーム、サウジの観光/エンタメ隆盛、UAE イスラエル接近でフィンテック・アグリテック・物流サービスなど「新たな中東ビジネス」風景の広がり等について解説頂いた。

#### <結果>

- ・参加者からのアンケートでは、総じてすべての講演に対する満足度の高さが伝わるコメントが多数寄せられ、賛助会員を含む民間企業/団体始め中東に広く関心を持つ官民の関係先へ、中東の様々な分野に関する広範・多様な情報、タイムリーで明解な解説を提供することが出来た。
- ・ハイブリッド方式の開催は、国内外のオンライン視聴者の広がりに限らず、諸般の事情で会場に来られない講師にとっても効果があり、新しい形式として今後も採用したい。
- ・なお、今次開催日は中東諸国の「巡礼月休暇」で在外公館・官公庁などの休業日に重なり、昨年より若干参加者が少なくなった。中東の宗教カレンダーに配慮したい。

#### 1. ビジネス

ルブリスト(株) 代表取締役 川名浩一氏

「中東ビジネスの醍醐味とリスクマネジメント」



#### 2. エネルギー

(特非) 国際環境経済研究所 理事/東北大学 特任教授 竹内純子氏

「日本のエネルギー政策をどう立て直すか」



3. 文化

東海大学経済学部講師 オスマン・アルマズィヤード氏

「国際理解の本質を問う－文化の視点から－」



4. 政治

(一財)日本エネルギー経済研究所理事／中東研究センター長 保坂修司氏

「揺れ動く中東情勢を読み解く」



5. 経済

ジャーナリスト（日本経済新聞客員編集委員） 脇祐三氏

「経済の構造変化と中東の課題」

